

市立伊丹病院のあり方に関する
市民アンケート調査報告書(案)

伊丹市



市立伊丹病院のあり方に関する市民アンケートの概要

1. 調査の目的

市立伊丹病院は、昭和 58 年 5 月に現在の場所で新病院として開院し、その後、様々な機能を充実させながら本市の基幹的な病院としての役割を担ってきた。

しかし、医療を取り巻く環境が激しく変化していることなどにより、近年は赤字経営が続いている状況にある。また、建設以来 35 年が経過し建替えを視野に入れた検討を始める時期にさしかかっている。

こういったことから、市立伊丹病院の今後の方針を協議するにあたり、市民の地域医療ニーズや市立病院に期待すること等についてアンケート調査を実施し、市立伊丹病院あり方検討委員会における今後の方向性を明確にしていく上で活用していくものとする。

2. 調査の対象

無作為に抽出した 18 歳以上の市民 3,000 人を対象に実施した。

返信用封筒にて無記名により回答をいただいた。

3. 実施期間

平成 30 年 7 月 1 日～平成 30 年 7 月 20 日

4. アンケート回収率

3,000 部配布したうち、1,502 部のアンケートを回収（回収率 50.1%）



市立伊丹病院のあり方に関する市民アンケート結果

1. あなた自身及びご家族についてお伺いします。

問1. あなたの年齢に該当する番号を記入してください。

回答者のうち、65歳以上の方は39.3%（市内人口に占める同年齢層は30.6%）を占めており、年齢層が上がるにつれ、回答率も上がる傾向にある。

	18-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
回答数	17	54	61	82	103	120	137
占有率	1.1%	3.6%	4.0%	5.4%	6.8%	8.0%	9.1%
(参考)市内人口に対する占有率	(2.6%)	(5.9%)	(6.0%)	(6.7%)	(7.7%)	(9.4%)	(10.1%)
	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75歳以上	合計
回答数	123	119	100	181	152	261	1,510
占有率	8.1%	7.9%	6.6%	12.0%	10.1%	17.3%	100.0%
(参考)市内人口に対する占有率	(8.3%)	(6.7%)	(6.0%)	(8.2%)	(7.3%)	(15.1%)	(100.0%)

問2. あなたの家族構成を教えてください。

	一人暮らし	一世代世帯	二世世代世帯	その他	合計
回答数	165	992	295	54	1,506
占有率	10.9%	65.9%	19.6%	3.6%	100.0%

問3. あなたがお住まいの小学校区を選び記入してください。

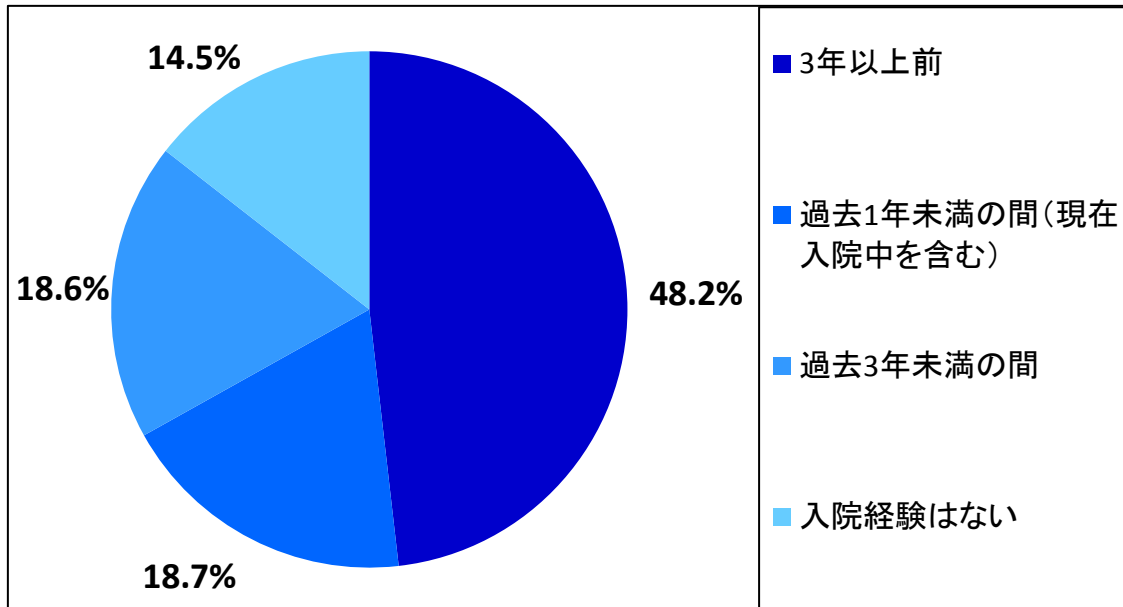
	伊丹	稲野	南	神津	緑丘	桜台	天神川	笹原	瑞穂	
回答数	193	117	134	32	94	91	101	125	65	
占有率	12.8%	7.8%	8.9%	2.1%	6.2%	6.0%	6.7%	8.3%	4.3%	
	有岡	花里	昆陽里	摂陽	鈴原	荻野	池尻	鴻池	不明	合計
回答数	84	66	56	69	55	63	68	55	38	1,506
占有率	5.6%	4.4%	3.7%	4.6%	3.7%	4.2%	4.5%	3.7%	2.5%	100.0%

問4. あなたは医療、介護関連のお仕事をされていますか。

	はい	いいえ	合計
回答数	132	1,375	1,507
占有率	8.8%	91.2%	100%

2. 入院についてお伺いします。

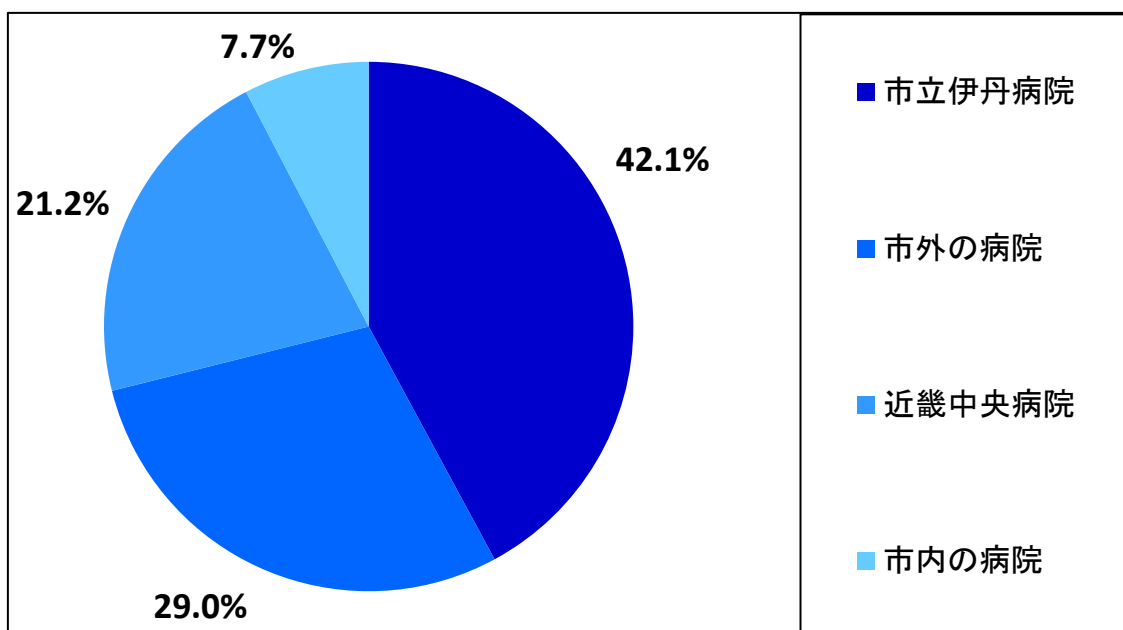
問5. 過去にあなた自身もしくはご家族で入院された経験はありますか。ある場合はいつごろ入院されたのか教えてください。（複数ある際は直近のもの）



問6. (問5で「入院経験がある」と回答した方にお伺いします)

入院された病院名を教えてください。

「市立伊丹病院」が 42.1%、「近畿中央病院」が 21.2%と、両病院合わせると計 63.3%となっている。一方で、「市外の病院」が 29.0%となっている。



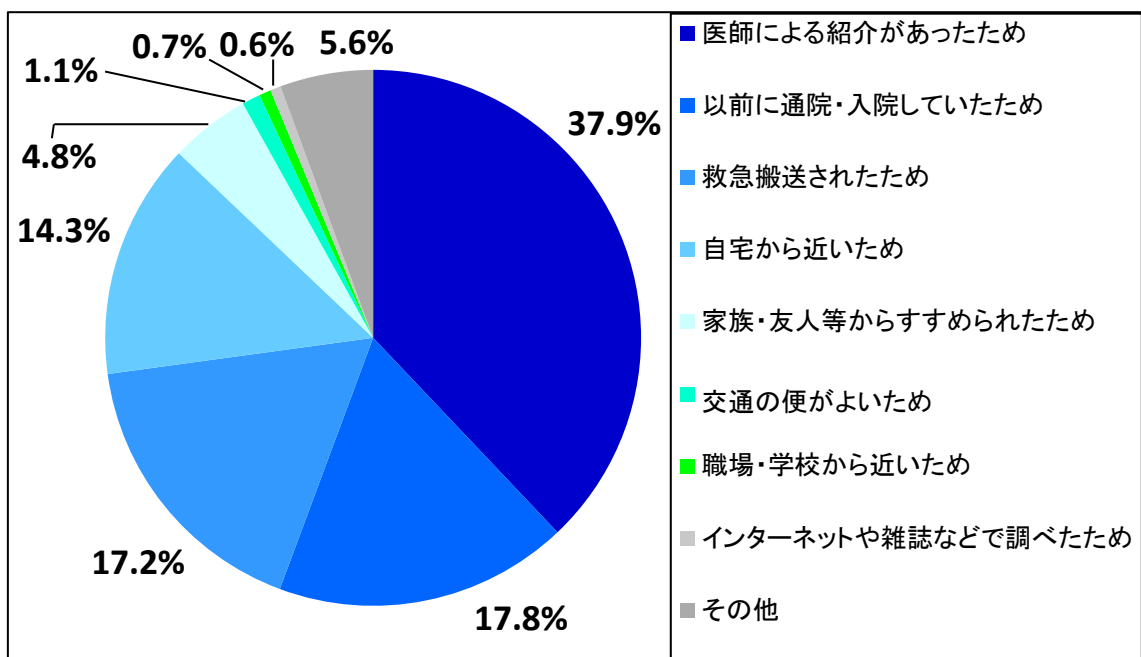
なお、小学校区別については次のとおりとなっている。

小学校区	市立伊丹病院	近畿中央病院	その他 市内の病院	市外の病院
伊丹	42.3%	13.5%	10.9%	33.3%
稲野	53.0%	14.3%	8.2%	24.5%
南	32.7%	26.2%	7.5%	33.6%
神津	55.2%	6.9%	6.9%	31.0%
緑丘	55.3%	11.8%	6.6%	26.3%
桜台	50.0%	8.1%	9.5%	32.4%
天神川	46.9%	7.4%	11.1%	34.6%
笹原	21.4%	46.1%	6.0%	26.5%
瑞穂	63.2%	7.0%	7.0%	22.8%
有岡	37.5%	25.0%	6.3%	31.2%
花里	52.6%	12.3%	5.3%	29.8%
昆陽里	32.7%	38.8%	2.0%	26.5%
摂陽	47.5%	36.1%	4.9%	11.5%
鈴原	33.3%	41.7%	4.2%	20.8%
萩野	42.3%	19.2%	3.9%	34.6%
池尻	63.8%	10.3%	5.2%	20.7%
鴻池	54.3%	17.4%	8.7%	19.6%

問7. (問5で「入院経験がある」と回答した方にお伺いします)

入院された病院を選んだ理由を教えてください。

「医師による紹介があったため」が最も多く 37.9%、次いで「以前に通院・入院していたため」が 17.8%、「救急搬送されたため」が 17.2%であった。



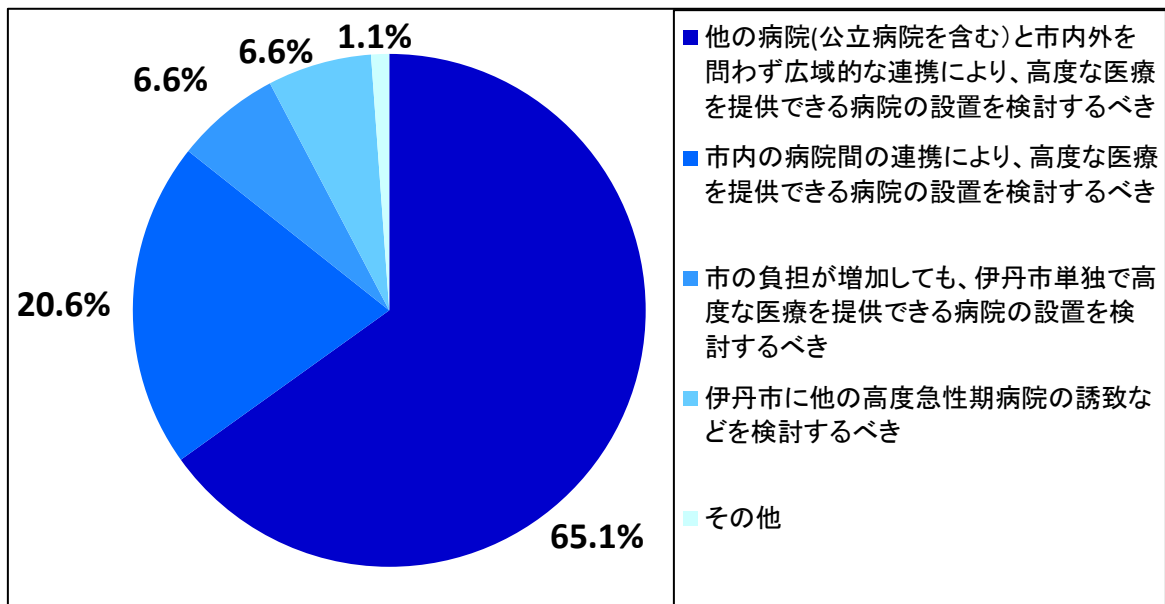


入院した病院を選んだ理由からは、診療所との円滑な連携や、救急の受け入れに引き続き力を入れていくとともに、入院時の患者満足度の向上も重要ではないかと考えられる。一方で、このようなニーズに十分対応できる診療体制の強化が今後の課題ではないかと考えられる。

3. 高度医療提供体制についてお伺いします。

問8. 伊丹市内で高度な医療を提供することができる体制を充実させようとした場合、他の病院との連携のあり方について検討する必要がありますが、このことについてどう考えますか。

「他の病院(公立病院を含む)と市内外を問わず広域的な連携により、高度な医療を提供できる病院の設置を検討するべき」が 65.1%と圧倒的に多く、次いで「市内の病院間の連携により、高度な医療を提供できる病院の設置を検討するべき」が 20.6%であった。



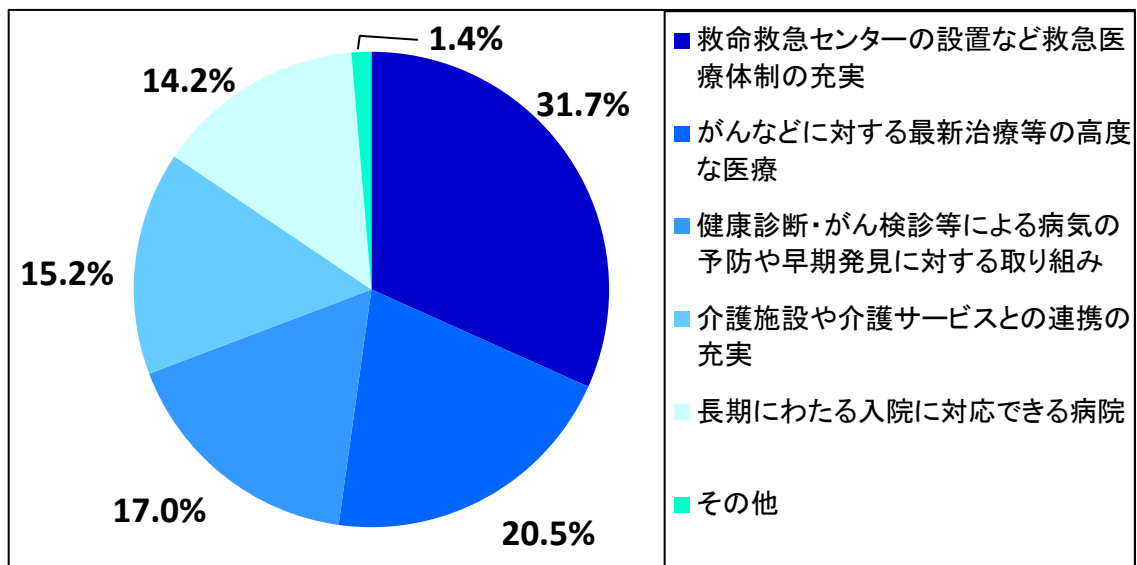
高度医療の提供については、伊丹市単独による取り組みよりも、他の病院との連携により充実させるべきという意見が多く、このようなニーズを十分踏まえた検討が重要ではないかと考えられる。

4. 市立伊丹病院へ期待することについてお伺いします。

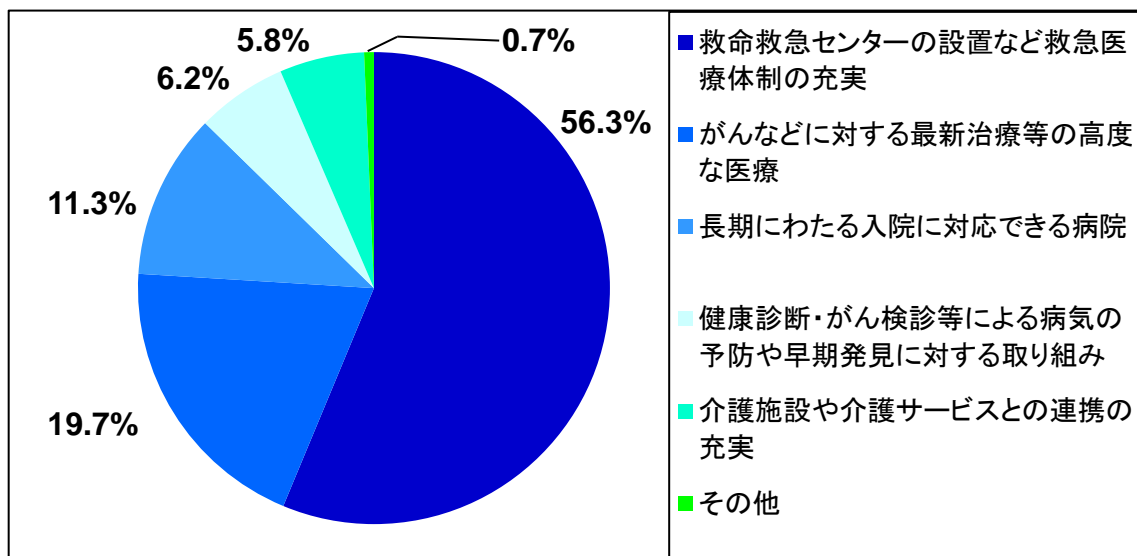
問9. 今後、あなたは市立伊丹病院にどのような医療サービスを期待しますか。

重要だと思ふ順に2つまで選んでください。

「救命救急センターの設置など救急医療体制の充実」が最も多く、31.7%であった。次いで「がんなどに対する最新治療等の高度な医療」が20.5%、「健康診断・がん検診等による病気の予防や早期発見に対する取り組み」が17.0%であった。



また、最も重要として回答した項目については、「救命救急センターの設置など救急医療体制の充実」が56.3%と圧倒的に多く、次いで「がんなどに対する最新治療等の高度な医療」が19.7%となっている。

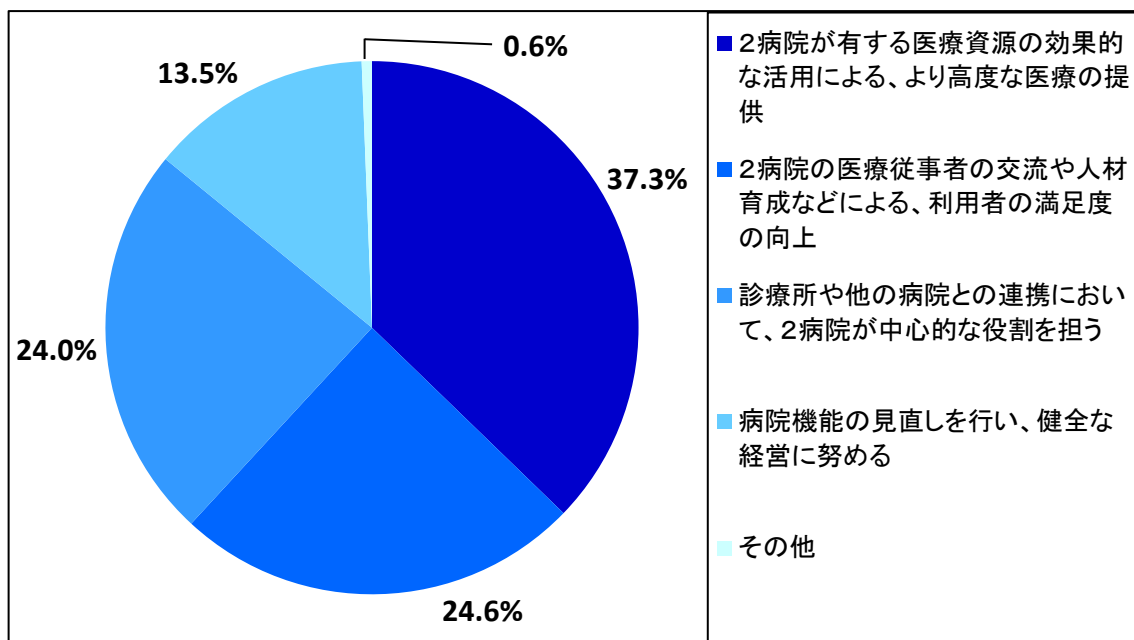




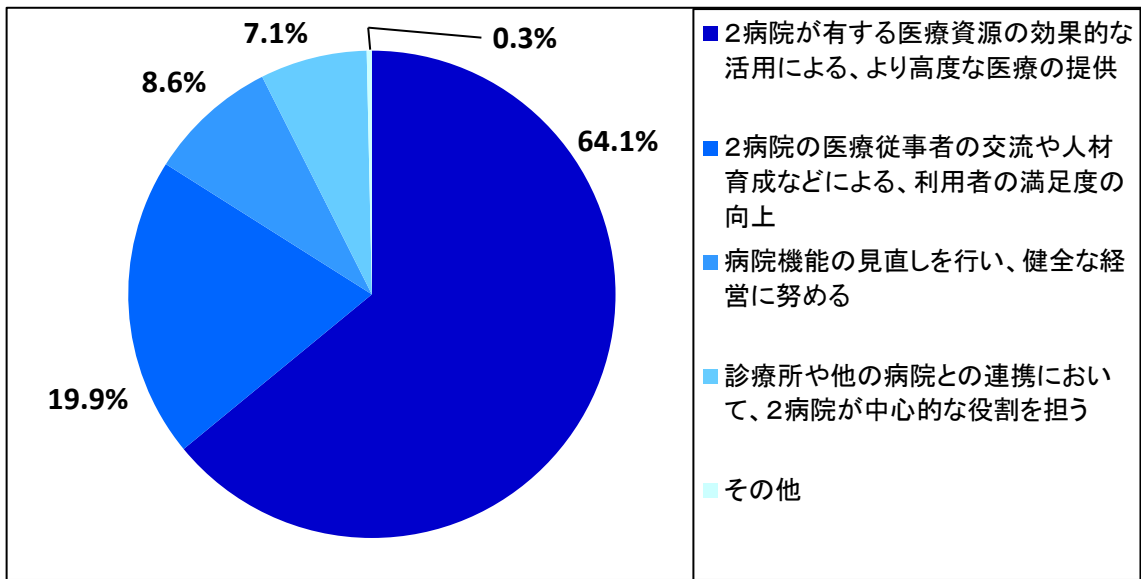
市立伊丹病院の今後のあり方を考えるにあたっては、特に、救急医療、高度医療提供体制について、どの程度充実を図ることが可能で、かつその必要性があるのかなど慎重に検討を進め、市民の期待に応えていく必要がある。

問 10. 平成30年2月に伊丹市は、市立伊丹病院と近畿中央病院が協力、提携などの連携協議に関する協定書を結びました。今後、この2病院にどのようなことを期待しますか。重要だと思う順に2つまで選んでください。

「2病院が有する医療資源の効果的な活用による、より高度な医療の提供」が最も多く、37.3%であった。次いで「2病院の医療従事者の交流や人材育成などによる、利用者の満足度の向上」が24.6%、「診療所や他の病院との連携において、2病院が中心的な役割を担う」が24.0%であった。



また、最も重要として回答した項目については、「2病院が有する医療資源の効果的な活用による、より高度な医療の提供」が64.1%と圧倒的に多く、次いで「2病院の医療従事者の交流や人材育成などによる、利用者の満足度の向上」が19.9%となっている。（次ページ参照）

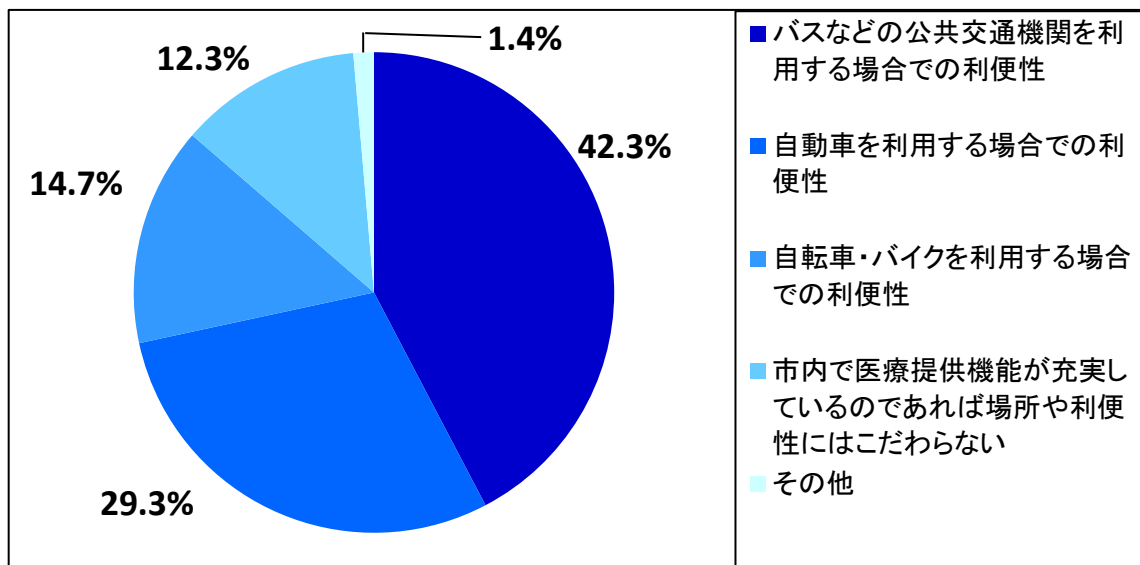


市立伊丹病院と近畿中央病院の連携については、このアンケート結果を十分に踏まえ、本市における地域医療体制をどのように充実させていくのかを慎重に検討していく必要がある。

5. 市内の病院へのアクセスについてお伺いします。

問 11. 伊丹市内の病院への受診に際する利便性に関し重要視するものは何ですか。重要だと思順に2つまで選んでください。

「バスなどの公共交通機関を利用する場合での利便性」が最も多く、42.3%であった。次いで「自動車を利用する場合での利便性」が29.3%となっている。



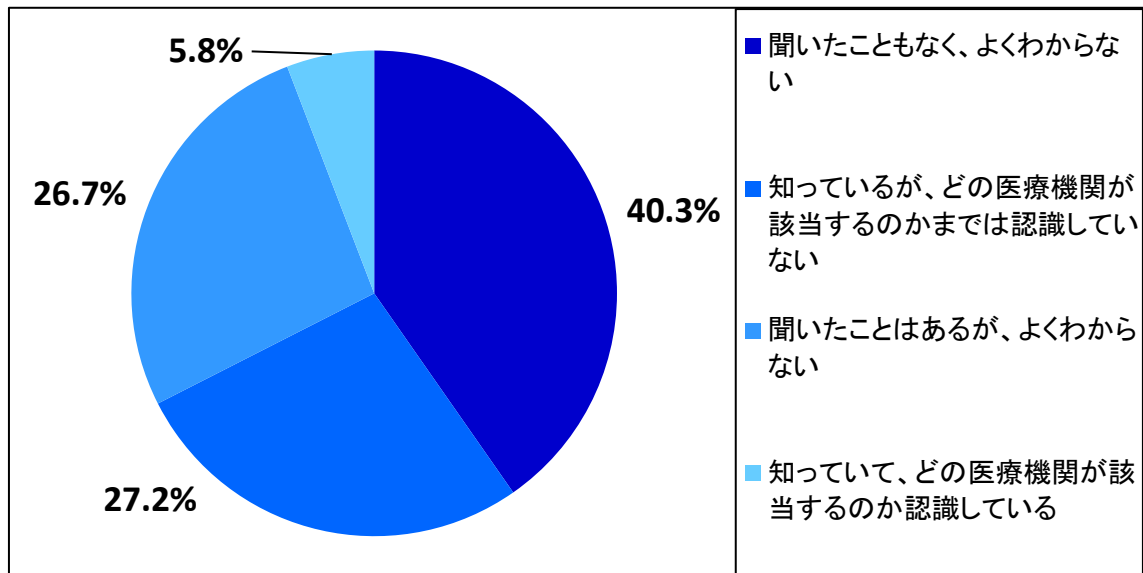


今後の高齢化社会の進展などを考えると、このようなアンケート結果を真摯に受け止め、公共交通機関によるアクセスの利便性を重視していく必要がある。

6. 病院の機能についてお伺いします。

問 12. 現在の医療制度においては、それぞれの病院が、高度急性期、急性期、回復期、慢性期などの機能をそれぞれに有しています。これらの病院が地域で互いの役割を明確にし、地域全体で医療を提供しようとする動きが進められております。このことについて知っていますか。

「聞いたこともなく、よくわからない」が最も多く、40.3%であった。次いで「知っているが、どの医療機関が該当するのかまでは認識していない」が27.2%、「聞いたことはあるが、よくわからない」が26.7%であった。



7. 病院の経営形態等についてお伺いします。

問 13. 市立伊丹病院は、適切な医療水準を堅持すべく、健全経営に努めているものの、今後も厳しい経営状況が予測され、将来にわたり安定的・継続的に医療を提供していくためには、本市の財源には限りがあることから、今後、様々な選択肢を検討していく必要があります。このことについて、あなたの考えに最も近いものをお選びください。

「適切な医療水準を維持するために必要なのであれば、近隣の病院（公立病院を含む）との統合も視野に入れるべき」が最も多く、41.0%であった。次いで「適切な医療水準が維持されるのであれば、経営形態にはこだわらない」が27.9%、「経営赤字が続くのであれば、適切な医療水準を維持するために、民間に運営を委ねることも視野に入れるべき」が21.5%であった。

